

2007 Hawaii

WEEKLY TRAVEL JOURNAL 臨時増刊号
平成19年11月12日(毎週月曜日)発行
第44巻 第58号 通巻2554号



はNewワイキキから
はじまるハワイ。

THE KAHALA HOTEL & RESORT

ザ・カハラ・ホテル&リゾート

内装一新の名門ホテルで ハワイの恵みを心ゆくまで

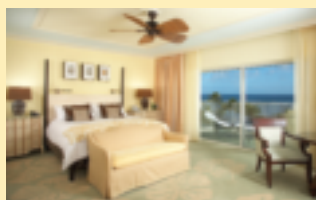
ワイキキから車で10分という近さにもかかわらず、誰にも邪魔されない非日常が約束されたラグジュアリー・リゾートが、ここ「カハラ・ホテル&リゾート」。“トロピカル・シック”をテーマに進化し続ける空間に、極上の休日求めて、ますます多くの人が足を運ぶことになりそうだ。



▲目の前に青い海が広がるオーシャンビュールーム



華麗に生まれ変わるザ・カハラ・ホテル & リゾート



ザ・カハラ・ホテル&リゾートの客室が「トロピカル・シック」をテーマに新しく生まれ変わります。インテリアデザイナーにアヴェリー・ブルック&アソシエイツのトッドアヴェリー・レナハンを迎え、空間を活かしたコンテンポラリーなスタイルのエlegantでハワイらしい客室は、ザ・カハラでの滞在をより一層ご満足頂けるものと確信しております。

2008年の宿泊料金は2007年のものと変わらず、ゲストルームが395ドルから、またスイートルームが1600ドルからとなっております。是非、新しくなりました客室で最高のリゾートをお楽しみください。

A member of
The Leading Hotels of the World®

ザ・カハラ・ホテル&リゾート
5000 Kahala Avenue
Honolulu, Hawaii 96816-5498 U.S.A.
GDS Code: LW

THE KAHALA
HOTEL & RESORT
Honolulu, Hawaii

ワイキキから海沿いに車を走らせると、ダイヤモンドヘッドの裏側の住宅街にトロピカルガーデンとプライベートビーチに囲まれた瀟洒なホテルが現れる。昨年3月に名称も新たに誕生し、現在もリニューアルを続ける「カハラ・ホテル&リゾート」だ。

“トロピカル・シック”をテーマにしたリファーマビッシュメントの数々は、ハワイアンデザインが目を引くシーリングファン、淡い黄色の壁、薄いブルーのカーペット、大きな白い鏡と実に多彩。寝心地の良さで知られるシーリー社のベッドをはじめ、カハラオリジナルの花の刺繍が入った柔らかなイタリア製のリネンなどは、日常の疲れを癒すファシリティーとしても秀逸だ。客室だけでなく、ロビーの家具もラルフ・ローレンに生まれ変わり、改装が順調に進んでいる様子をうかがわせる。

客室や館内をこれだけグレードアップしているにもかかわらず、08年の宿泊料金を07年のレベルに据え置いているのも魅力。標準的なコードヤードでも51㎡というリッチな広さ。また、スイートルームを一般料金で予約した宿泊客には、同ホテルの人気レストラン「ホクス」でのオーシャンフロント・テーブルや「スパ・スイート」の優先予約、客室でのカクテル&ププ(おつまみ)サービスなどさまざまな特典を用意している。

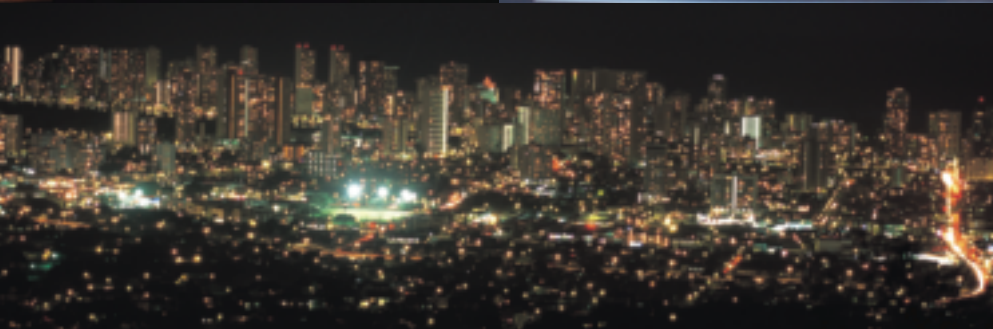
今度はどんな驚きを与えてくれるのか。カハラの進化から目が離せそうにない。



▲「トロピカル・シック」をテーマに内装を一新

はじまるNewワイキキから ワイキキから

ハワイ観光の原点とも言えるワイキキは常に変化し、多くの旅行者を魅了し続けてきた。世界的リゾートにふさわしい街に生まれ変わるべく、長きにわたって行われてきた巨大再開発がいよいよ終了を迎える。グレードアップしたNewワイキキは08年のハワイマーケットにどのような影響を与えるのだろうか。ワイキキの今をお伝えする。

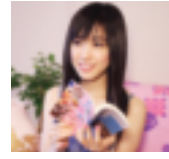


Contents

4 Interview

ハワイ最高、ミーハー上等!
**何と言われようと、
ワイキキが大好き**

～作家 橋口いくよさん～



6 特集

NEW WAIKIKI, NEW HAWAII
やっぱりワイキキが好き

**Newワイキキから
はじまるハワイ**



12 注目高まるハワイの海

**船から自然を
満喫する**



15 Column

新しいハワイへの道
タイムシェアで注目度増す
ロングバケーション

WEEKLY TRAVEL JOURNAL 臨時増刊号

発行日：平成19年11月12日
発行人：森谷博
発行所：(株)トラベルジャーナル
〒164-0003
東京都中野区東中野3-10-13
TJホスピタリティビル
編集：西村健太郎
営業：諸田久美子
取材・文：佐藤史子
デザイン：宏和デザイン
写真協力：ハワイ州観光局、オアフ観光局
印刷所：(株)アイプレス、欧文印刷(株)

Advertisers

2 The Kahala Hotel & Resort
16-17 Hilton Resorts Hawaii
19 Starwood Hotels & Resort
20-21 ResortQuest Hawaii
23 Outrigger Enterprise Group
24 Hawaii Tourism Japan

ハワイ最高、
ミーハー上等!

何と言われようと、 Interview Hashiguchi Ikuyo



あらゆるものに「アロハ萌え」

「萌え」という言葉に定義がないように、「アロハ萌え」にも定義はありません。だから、ハワイを感じさせてくれて楽しませてくれる、すべての感情・人・モノを「アロハ萌え」と呼んでいます。

ベスト・オブ・アロハ萌えな瞬間を振り返るとしたら？

まず、初めてオーシャンフロントの部屋に泊まった時。「私、やったな!」と思った。あの瞬間がまず入るかな(笑)。

それから、ワイキキ・トロリーの「カーン」という音も入れたい。ハワイ滞在中に部屋の中でちょっとだけ昼寝する時間が好きなんです。出かける前に、友達がシャワーを浴びているのを待つとかそういう時間ですね。そんな時、まどろんでいると遠くからカーンって聞こえてくるあの音、あれはアロハ萌えです。

あとは何だろう。私はふだん日本にいとともインドア派なんです。でも、ハワイに行くと、いととも簡単にアクティブになる。フットワークも軽くなって、短い時間の中に詰め込めるだけの夢を詰め込む自分があります。それは、ハワイに着いてからというよりも、出発前日に家の近所のドラッグストアに行って、準備という名のムダな買い物をしてる時あたりから始まっているわけです。すでに金銭感覚がおかしい(笑)。そんな「ハワイに行くんだ!」という自分の高揚していく気持ちもまた、アロハ萌えかなと思います。

ハワイが好き、ワイキキが大好き!

ハワイの魅力を一こと言う、それってとても難しいですね。でも、あえて表現するなら、あの「匂い」ではないかと思っています。香りって一瞬でリアルに体感できるもの。ハワイのあらゆる匂い、それこそ帰ってきた時のスーツケースの中の匂いまで含めて大好きです。

エリアでいうなら、やっぱりワイキキ。どんなにバカにされようとも、私はワイキキが大好きです(笑)。だって、ワイキキってたとえるなら新宿や六本木に海がペタッと付いているみたいなもの。「伊勢丹があるのに、こんなきれいなビーチも!?!」という世界。あの利便性はたまらない!

もちろん買い物も大好き。滞在中は、あらゆる場所で買う(笑)。私の中では、ハワイでのショッピングってお祭りの屋台みたいな感覚なのかもしれません。このお面が1個500円と言われて、それが高いか安いかわけなく、それを買うことが楽しい。だからこそ、ワイキキは外せないんです。

ハワイへの渡航を重ねると、ちょっと人と違うことをしたいとか、次のステージに行きたいとかそんな思いに駆られるもの。たとえば歴史に触れてみようとか、フラに挑戦しようとか。他の島に行くというのもある。私の場合は、初めてのハワイ旅がマウイだったのでマウイには特別な思いがあります。マウイに行くとマウイ最高って思うし、オアフにいると「オアフ最高!

ワイキキが大好き

Travel Journal

作家 橋口いくよさん

ハワイが好きで好きでたまらない。その、もどかしいまでの思いを「アロハ萌え」と表現する橋口さん。現地発のフリーペーパー『アロハストリート』のウェブサイトで手がける同名の連載コラムに続き、今年は同名の書き下ろしエッセイを発表。ハワイを愛する幅広い層の人々から熱い支持を獲得している。そんな橋口さんが語るハワイの魅力とは？

(インタビュー・文 佐藤史子)



▲ワイキキの1日はゆったりとした朝食から



▲ワイキキのライブカメラの前で読者や友人への到着報告!

鹿児島県生まれ。2001年『愛の種。』（幻冬舎文庫）でデビュー。繊細な表現で人間の内面を描くオリジナル小説のほか、『西遊記』（扶桑社）などノベライズも多数執筆。雑誌『ダ・ヴィンチ』（メディアファクトリー）の連載も好評。13年前に初めて訪れてからハワイのとりことなり、以後「ラッキーな年で年2回」とマイペースにハワイ旅行を楽しんでいる。

ワイキキ一番!」と、勝手なことばかり言っています。何度訪れてもワイキキでは「カラカウア通りとクヒオ通りを知ってる私が好き」と自分に酔ってしまいますし(笑)。いかにも日本人観光客って言われちゃうようなスポットもいいじゃない?と思う。「田中オブ東京」も行ってみればすごく楽しいし、こてこてのハワイツアーがあったら、参加したいと思います!

私のハワイに対する思いは、どんどん突き進んで行くというより、毎回同じ小さな円をぐるぐる回っているようなものかも。だからなかなかハワイ通にはなれないのですが、憧れつつも「このままでも最高に楽しい!」と思ってしまうんですね。ハワイが好きだから、何度も行く。理由はそれひとつだから。

みんな自分だけのハワイを見つけてる

最近は、ハワイで見かける日本人旅行者のスタイルも変わってきましたね。ワイキキを歩く女の子も、外国人の子みたいにミニスカートをさらっとはいて、髪に花を付けて。かっこいい!です。

『アロハ萌え』の読者の中には、男性もけっこういらっしゃるんですが、その方たちは女性以上にハワイに対して熱狂的。男性だって、沈んだ戦艦とか射撃にだけ興味があるわけじゃないですね。スーパーマーケットでの買い物とか、ビンテージの何かとか。

今はもう、みんな自分なりのハワイを見つけている

時期に来ているのかなと思います。小さな小さな楽しみを分かち合おうというスタイル。ハワイなら、誰かに合わせることなく個々が自由に旅できる。そんなところも気に入っています。

個人的には、次に行く時はワイキキから一步も出ないで過ごしてみようと思っています。それが私なりの小さな楽しい挑戦。レンタカーを借りて走り回るのも楽しいですが、何時に戻ってくるかとか、駐車場はあるかとか、意外と日本にいる時のようなストレスも感じてしまうもの。その点、ワイキキから一步も出ない日って実に楽チン。そして、かえって非現実的でもあるんじゃないかなと。早朝の散歩、ゆったりとした朝食に始まる1日で、思う存分『アロハ萌え欲』を満たしたいと思っています。



ハワイ好きな「女子心」のツボ満載! 目からウロコの書き下ろしエッセイ

『アロハ萌え』橋口いくよ著 講談社 ¥514(税別)

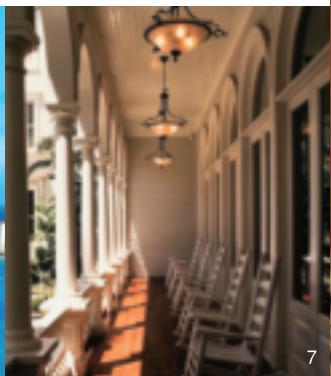
ハワイに行くこと決めた瞬間から始まる「準備でアロハ萌え」から、ハワイに行けずにいる遠距離恋愛中の間の「アロハ萌えインジャパン」まで、ハワイへの愛と妄想を一気に綴ったハイテンションエッセイ。業界人にとっては、ハワイ好きな女子心を紐解く「解説書」としても必読!



NEW WAIKIKI, NEW HAWAII やっぱりワイキキが好き♡

怒涛のプロジェクトもいよいよクライマックス!

Newワイキキからはじまるハワイ





全貌が見えた「新しいワイキキ」

「長いトンネルの向こうに、光が見えてきた」。地元の旅行業関係者やデベロッパーは今、こう口をそろえる。長らく「工事中」のイメージを与えてきたワイキキが、再開発プロジェクトのクライマックスを迎え、ようやくその全貌を現しつつあるからだ。

05年、ワイキキ・ビーチ・ウォークの着工を機に、街を挙げて始まった感のある大工事。今春第1期工事分のグランドオープンを果たした同プロジェクトに続き、ロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンターの全面的な改修工事もいよいよ終盤へ。この秋には、ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ビーチ・リゾート&スパのレインボータワー脇にある「デューク・カハナモク・ラグーン」がいよいよグランドオープンを果たす。

新しいワイキキといえば、ホテルのリノベーションラッシュも見逃せない。毎月のように改装のニュースが飛び込み、行くたびにどこかで変化が見られるホテルの動向には、旅行会社のベテラン担当者でさえ「もう、どのホテルが何だったか混乱することがある」とぼやくほど。全容は、次ページの「Newワイキキ」MAPを見れば一目瞭然。その数には、改めて驚かされる。

各プロジェクトに共通しているのは、「ハワイらしさへの回帰」であることは言うまでもない。街を挙げての大工事は、街全体のアップグレードを意味し、上質なハワイ体験の提供を目的とする。昔も今も、ハワイ観光産業の中核として旅行者を魅了してきたワイキキ。あまりにも私たちの目に慣れ過ぎたあまり、一部で脱ワイキキが流行のようにもてはやされた時期もある。だからこそ、生まれ変わったワイキキを前に、今こそもう一度、その真価を考えてみたい。

1・2：ロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンターの改修工事もいよいよ終盤。ワイヤーバッグで人気の「アンテナブリマ・プラスチック」の米田1号店など、注目のショップも続々と登場

3・4：ワイキキ・ビーチ・ウォークのリテールエリアでは、生活雑貨の「オアシス」などが早くも話題

5：おなじみ「トーチ・ライティング&フラッシュ」はステージの改修を終えてクヒオ・ビーチに復活

6：10月16日にオープニングセレモニーを開催した新しい「デューク・カハナモク・ラグーン」

7・8・9：生まれ変わるモアナ・サーフライダー。6月1日からウェスティンブランドとなり、これに伴う改装が着々と進行中

10：4月に誕生した「ザ・ワイランド・ワイキキ」。アーティストとのコラボによるデザインホテルとして新しい風を吹き込む

11・12：ワイキキ・トリローが手がけるウォーキングツアー、ホテルやショッピングモールで開催される無料プログラムなど気軽に参加できるイベントが増えていることにも注目

現在から未来を俯瞰 「こうなる」ワイキキ!



▲生まれ変わるワイキキ。街からビーチへの新たな動線が新鮮な感動と出会いを生む

風景も旅行者の動線も一変

新しいワイキキ。旅行者目線で見ただけで、まずそれを実感できるのは、ワイキキ中心部の「緑の多さ」ではないかとハワイ州観光局は指摘する。市を挙げた再開発事業の柱のひとつとして、ホノルル市は植樹プロジェクトに注力。ハワイの自然の豊かさや美しさを、ワイキキにいながらにして体感できるとの計らいだ。

カラカウア大通りに目を向けると、まず飛び込んでくるのはロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンターの緑だろう。リニューアルに伴って美しく整備された歩道にはヤシの葉が揺れ、南国らしい優美な景観を演出。新たに生まれた大きなラナイや、美しい中庭ロイヤル・グロブの広々とした空間も、開放感をより明快な形で発信する。西側に続くワイキキ・ビーチ・ウォークも同様で、美しい緑とともに活気づくワイキキの「今」を実感できる。

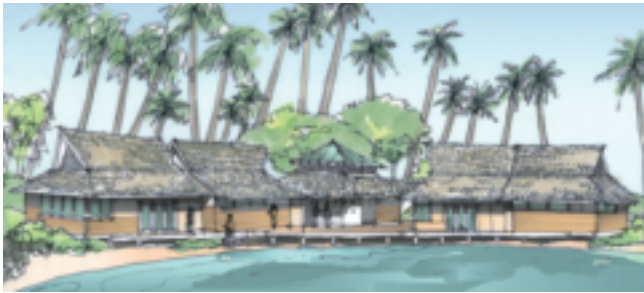
各ホテルで続くリノベーションが、客室だけでなくフロント周辺などパブリックスペースに重点を置いているのもポイント。どこにいても「新しい」風景に出会えるのが今のワイキキだ。

ワイキキ・ビーチへの回帰

変わったのは街だけではない。個性を競い合うかのような各種のプロジェクトだが、「ワイキキ・ビーチ」への回帰とでもいべき視点が貫かれていることも見逃せない。旅行者の足をビーチへと向かわせるように延びるワイキキ・ビーチ・ウォークは象徴的だが、リゾートクエスト・ワイキキ・ビーチ・ホテルでは、1階ロビーを「ビーチ・レベル」と名付け、海岸へと続く明るい通路へと改装するなど、各ホテルの視線もまた「海」「ビーチ」に向いている。ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ビーチ・リゾート&スパが手がけた新しい「デューク・カハナモク・ラグーン」も印象的。水深・水質・周辺環境とすべてがバージョンアップし、ファミリーでも安心して楽しめるスポットとして期待を集めている。

同時に、ビーチでの過ごし方も充実する傾向にある。ハイアット・リージェンシー・ワイキキ・リゾート&スパが始めた「ハイアット・オン・ザ・ビーチ」は、ビーチの Snackbar などでホテルの一流レストランの味が気軽に楽しめるというサービス。来年には、モアナ・サーフライダー・ウェスティン・リゾートに、ワイキキ初となるオーシャンフロントのスパも誕生する。





▲各ホテルの動向からは当分目が離せそうにない。ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ビーチ・リゾート&スパでは、新たにドルフィンラグーンも改装中



◀無料のウォーキングツアーが人気。テーマはオアフの歴史や文化に関するものが多い

「あって当たり前」の感すらあるワイキキ・ビーチだが、時々刻々と姿を変える浜辺の美しさは、ハワイらしさの原点でもある。こうした改革によって、旅行者に新たな感動を与える素材となっていくのではないだろうか。

アップグレード感はソフト面へ

オアフ観光局では「再開発やリノベーションが一段落しつつある今、地元の視点はハードからソフトへと移行しつつある」と見る。昨今、旅行者が無料で体験できるプログラムが急速に増えていることがそのひとつ。また、ロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンターのショー「ワイキキ・ネイ」など中心部での選択肢が拡大するとともに、ダウンタウン地区でのギャラリーウォークが人気を博すなど、旅行者の足は周辺へと拡大。同観光局でも、ウォーキングツアーの日本語地図を製作中で、ダウンタウン地区など新たなスポットでの体験をサポートしていく考えだ。

かつて、ハワイでは期待度があまり高いとはいえなかった「食」の充実にも注目したい。新たにオープンする飲食店では、「ハワイ初」がキーワード。米国本土やその他の地域で人気を獲得している店がハワイへと上陸する形で、新風を吹き込んでいる。また、世界的な人気を誇る「NOBU」や日本の老舗「なだ万」など、和食をベースにした高品質なレストランの進出もうれしいニュース。電動石臼機を用意し、挽きたての本格的な手打ちそばを提供する「松玄」など、純和風の飲食店も健闘中。アップグレードするワイキキ滞在のワンシーンとして、グルメ体験も押さえておきたいところだろう。



▲ワイキキ・ビーチ・ウォークに行列を生んだカリフォルニア発のビアレストラン「ヤード・ハウス」(左)、ロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンターの目玉店のひとつ、メキシコ・カンクン発の「セニョール・フロッグス」(右)。ともにハワイ初進出だ



◀上質な和食や和と洋のフュージョン料理にくつろぐ。「和さび&なだ万」のレインボーロール(左)と「松玄」の海老てんぷらそば(右)

アラワイ・ゴルフコース

アラモアナセンター / アラモアナ・ホテルからサタガ通り (Saratoga Road) まで

レアヒ/ダイヤモンドヘッド/カハラ方面 →

4 ヒルトン・プリンスクヒオ・ワイキキ
07年春にリノベーション完了
ロビーなどパブリックスペースから客室まで全面的に改装

5 ハイアット・リージェンシー・ワイキキ・リゾート&スパ
07年4月から新サービス
ビーチにあるスナックバーをアップグレード。「ナホオラスパ」にも8つの新しいコースが登場

2 アクア・オーシャン・タワー
08年春に全面リニューアル予定
全72室の客室インテリア、家具などを大幅に刷新する予定

モアナ・サーフライダー・ウェスティン・リゾート
07年6月にブランド変更&改装
「ザ・パニアン・ペランダ」のメニュー・内装を一新、08年にはワイキキ初のオーシャンフロントスパがオープン予定

SECTION I.

アラモアナセンター / アラモアナ・ホテルからサタガ通り (Saratoga Road) まで

- 宿泊施設
- 1 アラモアナ・ホテル
 - 2 アクア・バームズ&スパ
 - 3 ザ・イリカイ
 - 4 ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ ビーチリゾート&スパ
 - 5 アウトリガー・アナ・ワイキキ
 - 6 オハナ・マイルス・スカイ・コート
- 主要施設 / 見どころ
- 7 アラモアナセンター
 - 8 ハワイ・コンベンションセンター
 - 9 デューク・カハナモク・ラグーン
 - 10 アメリカ陸軍博物館
 - 11 2100カラカウア・アベニュー

SECTION III.

ザ・ロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンターからモアナ・サーフライダー・ウェスティン・リゾートまで

- 宿泊施設
- 11 シェラトン・ワイキキ
 - 12 ザ・ロイヤル・ハワイアン
 - 13 アウトリガー・ワイキキ
 - 14 モアナ・サーフライダー・ウェスティン・リゾート (2007年6月1日からホテル名変更)
 - 15 ザ・ワイランド・ワイキキ
 - 16 アクア・ワイキキ・ウェーブ
 - 17 ミラマー・アット・ワイキキ
- 主要施設 / 見どころ
- 18 ロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンター
 - 19 DFSキャラリア・ワイキキ
 - 20 センター・オブ・ワイキキ
 - 21 インターナショナル・マーケット・プレイス

SECTION II.

サタガ通り (Saratoga Road) からロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンターの手前まで

- 宿泊施設
- 1 エンバシー・スイーツ・ホテル ワイキキ・ビーチウォーク
 - 2 アウトリガー・リーフ・オン・ザ・ビーチ
 - 3 ハレクラニ・ホテル
 - 4 ワイキキ・パーク・ホテル
- 主要施設 / 見どころ
- 5 ワイキキ・ビーチウォーク
 - 6 ルイ・ヴィトン

SECTION IV.

モアナ・サーフライダー・ウェスティン・リゾートからワイキキ水族館まで

- 宿泊施設
- 11 ハイアット・リージェンシー・ワイキキ・リゾート&スパ
 - 12 ワイキキ・ビーチ・マリOTT・リゾート&スパ
 - 13 リゾークエスト・ワイキキ・ビーチ・ホテル
 - 14 ヒルトン・プリンスクヒオ・ワイキキ
 - 15 リゾークエスト・アット・ザ・ワイキキ・パニアン
- 主要施設 / 見どころ
- 16 カバエマフ・ヒーリング・ストーン
 - 17 デューク・カハナモク像&フラ・ショー
 - 18 サンセット・オン・ザ・ビーチ
 - 19 ホノルル動物園
 - 20 ワイキキ水族館
 - 21 カピオラニ公園
 - 22 ワイキキシェル
 - 23 クヒオ・ビーチ
 - 24 キーンズ・サーフ・ビーチ

ワイキキ&オアフ NEWSフラッシュ

#01 ショッピングセンター

アラモアナセンター フロア大幅拡張でさらに充実

08年3月、センターの山側に3階建て・総面積1万8700㎡の新たな棟が完成し、米国の人気デパート「ノードストローム」がハワイ初進出する。また、センター側からつながる2階建ての新コンコースにも、約30の店舗が誕生。J.Crew、チコズなどハワイ初進出のショップのほか、ミキハウスなど日本のブランドも登場する予定だ。オープンに合わせ、3月3～9日にはショッピング&ファッションイベント「ショップ・ア・レア」も開催。特定ホテルと提携したトラベルパッケージも販売していく。



ロイヤル・ハワイアン・ ショッピングセンター

総合エンターテインメント施設へ

残す工事もわずかとなり、07年末～08年初頭にはいよいよグランドオープンを果たす見込み。創業以来という大規模改装で注目すべきは、飲食店でも集客力のある人気店が加わっていること。世界的な受賞歴を持つレストランのほか、ショーやライブが行われるロイヤル・グローブ脇に誕生するオープンエアの新フードコート「パイナ・ラナイ」も新鮮。また、08年6月からは、同センターのリーディングプロジェクトでもある新しいショー『ワイキキ・ネイ』の上演もスタートする予定。ショッピングセンターの域を超えた、エンターテインメント複合施設として楽しみたい。



ワイキキ・ビーチ・ウォーク 地元色強いリテールエリア

リテールエリア部分の特徴は、地元ハワイの企業が経営するショップや、メイドインハワイの物販を強く意識していること。高級ブランドに興味のない層にも訴求するスポット

としてチェックしておきたい。ハワイ初進出の飲食店は地元でも話題。狙いどおり、口コと観光客が出会う新しいスポットとして機能し始めている。

現在は第2期工事の段階に入り、カラカウア大通り側のオハナ・アイランダー・ワイキキ、ワイキキビーチ側のアウトリガー・リーフ・オン・ザ・ビーチという2つのホテルの大改装が進行。09年冬にオープンを目指すランプ・インターナショナル・ホテル&タワー・ワイキキ・ビーチ・ウォークが完成すれば、全工程が完了する。

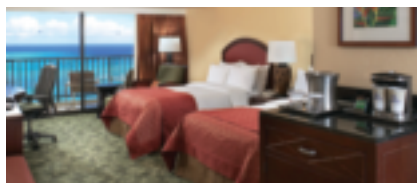


#02 ホテル

ヒルトン・ハワイアン・ ビレッジ・ビーチ・リゾート&スパ

09年まで続く大変革

ダイヤモンドヘッドタワーの客室改装、デューク・カハナモク・ラグーンの全面リニューアルに続き、現在はタパタワーの客室を改装中。グリーン、ゴールド、オレンジを基調とした温かみのあるカラーで統一されるほか、すべての家具を新調。08年2月の完了を目指す。また、10月にイルカの赤ちゃんが誕生し、名前を一般から公募。全11頭となり手狭になったドルフィンラグーンも改装中。ポリネシアンムードを高めた「ドルフィン・クレスト・ビレッジ」として生まれ変わる。隣接する敷地に建設中のタイムシェア・リゾート、ザ・グランド・ワイキキアンは09年の完成予定だ。

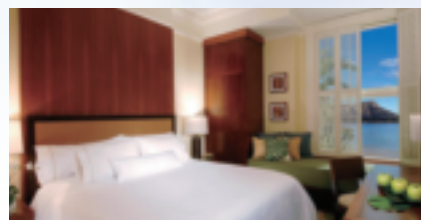


モアナ・サーフライダー・ ウェスティン・リゾート

ウェスティンスタンダードへと進化中

6月にウェスティンブランドのホテルとして再スタート。これに伴い、ウェスティンスタンダードに合わせてベッドやバスなど客室設備も衣替え。より快適な滞在が可能となった。

レストラン関係も順次手を入れており「ザ・バニアン・ベランダ」をメニューとともに一新すると、続いてビーチサイドカフェのリニューアルがスタート。08年にはワイキキ初のオーシャンフロント・スパがオープンする予定もあり、こちらも大いに楽しみ。



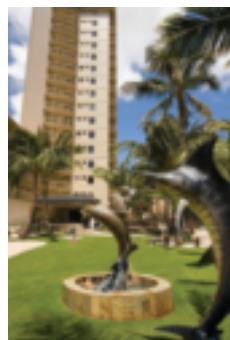
ザ・ロイヤル・ハワイアン アプローチ方法から劇的に変化

08年6月で全館を閉鎖、09年1月1日オープンを目指して大幅なリノベーションがスタートする。注目したいのは、ロータリー、エントランス、フロント部分を含めた「入り方」の劇的な変化。入り口をロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンター側に移す計画だ。また、客室やバンケット、ビーチサイドまで含めたパブリックスペースをすべて刷新。ワイキキ随一の名門ホテルの改装には、地元からも大きな期待が集まっている。



ザ・ワイランド・ワイキキ 海をモチーフにしたこだわりホテル

世界的なマリンアーティスト、ワイランド氏とのコラボレーションでオープン。4月からすでに稼働を始めている同ホテルも“Newワイキキ”として注目したい施設。海をモチーフにした館内では、3棟に405室を提供する客室のピローケースやクッションにも同氏のデザインを使用。アートギャラリーのようなロビーを含め、デザインホテルとしてのこだわりが光る。



ザ・カハラ・ホテル&リゾート 創業当時の客室デザインを一新

ワイキキの喧騒から少し離れた場所にある“カハラ”でもリニューアルが進行中。昨年、ホテルのオーナーシップと経営陣が替わり、ラグジュアリーリゾートとして再スタートを切ったことに伴い、1962年の創業当時から親しまれてきたベージュを基調とした客室デザインを一新。スイートを含む全客室で、“トロピカル

シック”をテーマにした、よりハワイらしくつるぎを演出していく。



**ディズニーがハワイに進出
コオリナ地区に800室超の新ホテル**

かねてから噂になっていたディズニーのハワイ進出が現実となった。ウォルト・ディズニー・パーク&リゾートは、このほどオアフ島コオリナ地区にリゾートホテル建設の予定があることを発表。タイムシェアを含めた800室以上を提供していく。テーマパークと連動しない単体でのホテル運営はディズニー初となる予定で、2011年オープンを目指していくという。

#03 無料&注目プログラム

**ワイキキ・ビーチ・ウォーク
「マナ・ハワイ」で無料ハワイ体験**

6月から、ワイキキ・ビーチ・ウォーク2階にある「マナ・ハワイ」で無料のカルチャープログラムがスタートしている。プログラムの内容は、ウクレレやフラのレッスン、ハワイ語レッスン、フラ道具の使い方レッスン、ハワイアンスピリチュアリティなど多彩。親子で参加できるケイキ・フラのレッスンもある。いずれも参加費は無料で、日～金曜の午前中に実施。



**ロイヤル・ハワイアン・
ショッピングセンター
人気プログラムを充実へ**

無料体験プログラムといえばここ。ハワイアンキルト・レッスン、フラ・レッスン、ウクレレ・レッスン、レイ作りなど各種無料プログラムがツーリストに人気を博してきた。今夏、同センターの文化事業ディレクターにハワイのエンターテインメント界・文化界で活躍するマヌ・ボイド氏が就任。ハワイ語や各種ハワイ文化に造詣の深い同氏の下、同センターのプログラムもより充実化を図るとしている。今後の展開に注目を。

**マウイ・ダイバーズ
ジュエリー製作体験をスタート**

ハワイ州内に60店舗を構え、サンゴの採取から各種ジュエリーの製造・販売まで

手がける同社。07年より、ワイキキ中心部から車で10分ほどの本店でハワイアン・ジュエリーの製作体験をスタート。体験は、好みの色を選んだエナメルを作成し、シルバーやゴールドのペンダントトップに専用の細かい針で流し込んでいくというもの。入れ終わったら、オープンで焼成するのを待って出来上がり。日本語インストラクターが対応してくれるので安心だ。料金はシルバーで28ドル〜。



**カパラマ地区
ヒストリックウォーキングツアー
ワイキキ・トロリーの新しい試み**

ワイキキ・トロリーが、10月1日から無料のウォーキングツアープログラムをスタートした。プログラムは、レッドライン・コアロハウクレレ停留所からスタート。ガイドと共にカパラマ運河沿いや地区内を歩き、ハワイの知られざる歴史に触れる。所要時間は45分。レッドラインDFS発9:25、10:10、10:55発の3便に乗れば誰でも参加OK。ツアーは日本語と英語で提供される。



**モアナ・サーフライダー・
ウェスティン・リゾート**

無料カルチャープログラム開始

オアフ島ワイアナエでフラ教室を主宰し、日本でもDVDが販売されるなど有名なノエラニ・チャンを指導者に迎えたフラ・レッスンなど、本格的なカルチャープログラムをスタートさせた。レッスンは毎週火～木曜の午前中に行われ、レイ作り、ハワイアンキルト作り、フラレッスンを日替わりで楽しめる。

#04 その他

**ワイキキ・トロリー
乗り放題チケットにICカード**

10月1日から、4日間乗り放題チケットがICカード「トロップ」に変更。使用開始から7日間のうち好きな4日間が乗り放題となるため、自由度が高い。現在は現地でのみの取り扱いとなるが、今後は日本国内での販売も検討していく予定。また、10月からの新スケジュールで、注目のダウンタウンエリア

に停留所を新設。アートギャラリーやユニークなショップ、カフェなどが登場し、女性誌などでも注目の同エリアの利便性が向上する。新停留所は、「カテドラル・ギャラリー」と「ダウンタウン・アート街」の2つ。これにより、エリア内で3カ所の停留所が使用できる。



和さび&なだ万

170年余の歴史を持つ「なだ万」が上陸!

1830年創業、日本料理の老舗「なだ万」が手がける海外リゾート初出店のレストラン。古くから親しまれてきた「和さび」とのコラボレーションで誕生したもので、ワイキキ中心部から車で7分ほどの場所にある旧「和さびビストロ」をリニューアルした。料理長には、テレビ出演も多い同社の加藤道久氏が就任。季節の懐石、和牛しゃぶしゃぶなどのほか、ハワイでしか味わえないオリジナルのアラカルトメニューも豊富に用意。コース料理はランチ30ドル〜、ディナー50ドル〜。8人までの個室のほか40人まで収容可能なテラス席もあり、さまざまなシーンで活用できる。



**ポリネシア・カルチャー・センター
ウエディングプログラム登場**

10月1日から、園内のカワイロア・チャペルでの挙式をメインとしたウエディングプラン「トレジャー・オブ・アロハ・ウエディング」の販売をスタート。同プランは、ワイキキのホテルからリムジンで出発するところから始まり、挙式、フォトセッション、プライベートパーティーなどを含むもの。挙式後に行うカヌーツアーでは、園内のポリネシア各地の“村々”でフラの祝福や伝統的な宝物のプレゼントを受けるなど、ハワイらしい開放的でユニークな体験が可能。

挙式に関しては日本語の専任コーディネーターが付き添うほか、販売窓口となるワタベウエディングの各種サポートも受けられる。1日1組限定。



注目高まるハワイの海

船から自然を満喫する



▲運航再開を静かに待つ「ハワイ・スーパーフェリー」のアラカイ号

「ハワイ・スーパーフェリー」就航で話題を集めているハワイの「海」と「船」。運航再開に向けて動き出したスーパーフェリーとともに、美しい自然を楽しむアクティビティとして、あらためて注目してみたい。

どうなる「ハワイ・スーパーフェリー」

6年以上に及ぶ準備期間を経て、8月26日に満を持して就航した「ハワイ・スーパーフェリー」。しかし、環境問題に関する抗議活動と訴訟で、運休状態に追い込まれていることは周知の事実だ。ハワイの新聞社やラジオ局などが行ったアンケートでも賛成の声が多く、また、すでに運航している観光船や貨物船に対しては目立った抗議活動が行われてこなかっただけに、関係者の困惑は大きい。

現地では、フェリー航行がもたらす環境への事前調査を義務付けるハワイ州最高裁判所の判決に続き、マウイ巡回裁判所によって調査が完了するまで運航再開を禁止される裁定も下され、一筋縄ではいかない状況に。ハワイ・スーパーフェリー社では、膠着する状況を受けて従業員249人の一時解雇を発表。日本でのプロモーションやPRに関しても一時的に全面ストップするなど、先が見えない状態が続いてきた。

10月末現在、運航再開の具体的なめどは立っていないものの、現地では上院議員による特別委員会が法令改訂を認める決定を下したとのニュースが話題に。事前調査中にもフェリーの運航が許可される可能性が出てきたもので、今後は法令改訂に伴う修正事項を正式に上院議会、州議会に提出。細かな検討と審議を経て承認へとつなげる構えだ。

ハワイ・スーパーフェリー社では、新法令が承認を受けた場合、約1週間で運航再開が可能になるとしている。環境への調査の進展が待たれるのは現地も日本も同じだが、再開について一定の期待が持てるニュースとして推進派は注目している。

世界最大級の海洋保護区に

昨年6月、アメリカ合衆国政府は北西ハワイ諸島とその周辺海域を「ナショナル・モニュメント（国家遺産）」に指定した。対象海域の広さは約36万km²。オアフ島などから見て、島々や環礁が連なる北西方向に、世界最大級の海洋保護区が誕生したことになる。

そもそもハワイ周辺のサンゴ礁は多種多様な海洋生物の宝庫。7000種にも及ぶ生物のうち25%はハワイの固有種とされるなど、独自の生態系が息づく豊かな海として知られている。ワイキキ水族館やシー・ライフ・パークでおなじみのアザラシ「ハワイアン・モンク・シール」や、アオウミガメなど、絶滅危惧種に指定された動物が多数生息していることでも有名だ。

また、ハワイの歴史を考えるうえでは、南太平洋に住むポリネシア人の優れた航海術を抜きには語れない。

オアフ島からネイバーアイランドへ、どうしてもランドに目が向きがちなハワイ旅行ではあるが、海にこそハワイらしさの源が詰まっているとも言えるだろう。「スーパーフェリー」で注目集まるハワイの海。環境保護への取り組みも視野に、船での体験にスポットを当ててみたい。



▲ダイナミックにジャンプするサトウクジラ。アトランティス・アトベンチャーズのホエールウォッチングクルーズより

おすすめ「船」商品をチェック! ①

季節を楽しむ ユニーククルーズ

ニューイヤーズイブ・クルーズ

New Year's Eve Cruise

ワイキキ沖合で新年を迎える

アトランティス・アドベンチャーズが手がける大晦日限定クルーズ。大晦日の夜、ナビテック1号で、ダイヤモンドヘッド沖合からカハラ・ゴールドコーストまでを周遊。子育てのために回遊してきたザトウクジラを見学する。ディナークルーズで人気の同船だが、実はダイヤモンドヘッドの沖合まで運航許可が下りている唯一の船でもある。冬期のみ運航されるのが、クジラとの遭遇率が毎年90%を超えるというこのクルーズだ。船内では同乗する海洋生物の専門家によるザトウクジラの生態や習性に関する説明を受けながら、ピュッフェランチが楽しめる。



■DATA
所要時間：約2時間15分
運航期間：07年12月31日22:30～08年1月1日0:45
発着場所：ホノルル(アロハタワー・マーケットプレイス・ピア6)
■問い合わせ先
アトランティス・アドベンチャーズ
URL：www.atlantisadventures.jp

ホエールウォッチング・ランチ・クルーズ

Whale Watching Lunch Cruise

ザトウクジラの遭遇率は9割以上!

揺れにくいハイテク技術を搭載したナビテック1号で、ダイヤモンドヘッド沖合からカハラ・ゴールドコーストまでを周遊。子育てのために回遊してきたザトウクジラを見学する。ディナークルーズで人気の同船だが、実はダイヤモンドヘッドの沖合まで運航許可が下りている唯一の船でもある。冬期のみ運航されるのが、クジラとの遭遇率が毎年90%を超えるというこのクルーズだ。船内では同乗する海洋生物の専門家によるザトウクジラの生態や習性に関する説明を受けながら、ピュッフェランチが楽しめる。



■DATA
所要時間：約2時間30分
運航期間：今年度は07年12月20日～08年4月6日
発着場所：ホノルル(アロハタワー・マーケットプレイス・ピア6)
■問い合わせ先
アトランティス・アドベンチャーズ
URL：www.atlantisadventures.jp

カネオヘ湾クルーズ

Kaneohe Bay Cruise

ウミガメ観察ができる夏期が人気

オアフ島東部にあるクアロア牧場でも、クルーズ商品を扱っている。近々のカネオヘ湾を周遊する所要1時間のクルーズで、豊かな海洋の自然や周囲の自然風景が楽しめる。湾内クルーズのため揺れが少なく、年配者や幼児でも気軽に乗船できるのもうれしい。通年運航だが、人気を集めているのは6～9月に見られるアオウミガメだ。ハワイでも絶滅危惧種として知られる貴重な生物を垣間見るチャンスとして注目したい。定員は49人。



■DATA
所要時間：約1時間
運航期間：通年の月～土曜
発着場所：クアロア牧場近くのプライベートビーチ
■問い合わせ先
クアロア牧場
URL：www.kualoa.com/jp

乗って
みました!

ザ・ボート
The Boat

カポレイ地区とホノルルを結ぶ定期船が就航! ～運賃わずか2ドル 海からホノルルを眺める～

今年9月、オアフ島初の定期往復フェリー「ザ・ボート」が就航した。島の西にあるエヴァ地区のカラエロア港とホノルルのアロハタワー間を1日3往復するもので、所要時間は片道約1時間。使用する船は149人乗りで、9月下旬以降は2隻体制で運航されている。

問題となっていた交通渋滞を緩和するために、ホノルル市が導入した新交通機関。その性格上、タイムスケジュールが限られているのが特徴。朝はホノルル・ダウンタウンに向かい、逆ルートは夕方からの運航となる。船内で無料のワイヤレスインターネットが楽しめるのもユニーク。無料コーヒーサービスもある。

実際に乗船してみると、船旅という非日常感に加え、ワイキキではなかなか味わえないローカル気分が満喫できて新鮮。これまでのオアフ滞在では味わえなかった体験と言えるだろう。

運賃は片道2ドル。両港では「ザ・バス」に接続しており、乗り換えも1回は無料というシステムも魅力だ。サンセットタイムに合わせて乗船すれば、船上から見事な夕日を眺めることもできる。

ワイキキ滞在の旅行者にとっては少々不便なタイムスケジュールにはなるが、好奇心旺盛なリピーターに勧めてみたい。



■DATA
所要時間：約1時間
運航期間：通年(バーバース・ポイント発5:30・6:00・8:00、アロハタワー発16:20・17:20・18:50)
発着場所：バーバース・ポイント/アロハタワー
■問い合わせ先
ホノルル市「ザ・ボート」 URL：www.trytheboat.com

おすすめ「船」商品をチェック! ②

今年登場の NEWクルーズ

ワイルド・ドルフィン・ウォッチ& ランチ・ウエスト・オアフツアー Wild Dolphin Watch&Lunch West Oahu Tour

10月1日登場のオアフ島西側クルーズ

数あるハワイのクルーズのなかでも最新のコース。新たに造船した「ホク・ナイア号」でオアフ島西側をクルーズし、イルカやアオウミガメを見るアドベンチャー・クルーズだ。ナチュラリストの資格を持つクルーが同乗し、船上ではバーベキューランチも楽しめる。



■DATA
所要時間：約2時間
運航期間：通年の火～日曜
発着場所：ワイアナエ・ボートハーバー

■問い合わせ先
スターオブホノルル・クルーズ&イベント
URL：www.starofhonolulu.com

ラナイ・アドベンチャー Lanai Adventures

丸1日楽しめるマウイ島発商品

今年登場した新商品。スピリット・オブ・ラハイナ号でラナイ島を往復する所要7時間のクルーズでは、海洋生物についての解説を聞きながら、時には並走するイルカが見られることも。ラナイ島ではたっぷり3時間滞在でき、シュノーケルなどのアクティビティで豊かな自然を満喫できる。夏期のみ運航。



■DATA
所要時間：約7時間
運航期間：08年度は5月15日～9月15日
発着場所：マウイ島ラハイナ港(スリッパ4)

■問い合わせ先
スターオブホノルル・クルーズ&イベント
URL：www.starofhonolulu.com

本格的に楽しむ ロングクルーズ

プライド・オブ・ハワイ Pride of Hawai'i

よりハイエンドな層に訴求する高級ライン

昨年誕生した、ノルウェー・クルーズ・ライン(NCL)が運航するクルーズ。基本コンセプトは同社の「プライド・オブ・アメリカ」と同じだが、クラス感はこちらが上。ラナイ付きのキャビンをそろえ、専用プールと温水ジャグジーなどが楽しめる「コートヤードヴィラ」など、アップークラスの選択肢が豊富。カジュアルさとともに程よいラグジュアリー感が楽しめる。



■DATA
所要時間：7泊8日
ルート：月曜オアフ島ホノルル発→ハワイ島ヒロ→マウイ島カフルイ→ハワイ島コナ→カウアイ島ナウイリウイ→月曜オアフ島ホノルル着



■問い合わせ先
ノルウェー・クルーズ・ライン
日本オフィス
URL：www.ncljpn.jp

プライド・オブ・アメリカ Pride of America

新市場を開拓するカジュアルクルーズ

7泊8日で4島を巡る、NCLが運航するカジュアルクルーズライン。カジュアル&フリースタイルというコンセプトは、クルーズ初心者でも利用しやすいとアクティブシニア層などに好評。日本市場向けには3泊4日と4泊5日のショートアレンジが可能だが、ロングステイやロングパッケージを満喫する層を中心に7泊8日も人気だ。



■DATA
所要時間：7泊8日
ルート：月曜オアフ島ホノルル発→ハワイ島ヒロ→マウイ島カフルイ→ハワイ島コナ→カウアイ島ナウイリウイ→月曜オアフ島ホノルル着



■問い合わせ先
ノルウェー・クルーズ・ライン
日本オフィス
URL：www.ncljpn.jp

タイムシェアで注目度増す ロングバケーション

キーワードは「滞在する醍醐味」

日本における海外旅行の幕開けの舞台となったハワイ。リピーター率が6割を超えるとされる現在、全セグメントに共通する注目の旅行テーマといえば「暮らすように旅する」こと。ハワイのファンを増やし、ヘビーリピーターを取り込むこの動きに対して、旅行業界も対応を迫られている。

タイムシェアの6割以上が日本人

ヒルトン・グランド・バケーション・クラブが09年オープンを目指して建設を進める「ザ・グランド・ワイキキアン」、ワイキキ・ビーチ・ウォークに昨年完成した「ウィングダム・バケーション・リゾーツ・アット・ワイキキ・ビーチ・ウォーク」、さらには再開発が進むオアフ島南西部に位置するコオリナ地区に誕生したマリオット・バケーション・クラブ・インターナショナルの「コオリナ・ビーチ・クラブ」……。オアフ島では今、タイムシェア専用施設のオープンラッシュが続いている。販売状況はいずれも好調なようで、「日本人オーナーの比率は6~7割に達する」（ヒルトン担当者）など、注目度は高い。

日本市場においてタイムシェアが一定の認知を得た背景にあるのが、毎年のようにハワイに足を運ぶヘビーリピーターと、リタイア後の生活を快適なハワイに求めるロングステイヤーの存在だ。また、コンドミニウムやバケーションレンタルなど、ホテル以外の滞在先が以前から豊富にそろっていることも、タイムシェアへの垣根を低くしていると言える。昨今はハワイだけでなく全方面で話題となる「暮らすように」という滞在スタイルだが、ハワイはその先駆者であり、最強のデスティネーションと言っても過言ではない。

「暮らす」へのサポートが本格化

こうした動きを受け、各大手旅行会社は相次いで中・長期滞在者をサポートする営業所などを開設。日本の拠点と現地の支店がタッグを組むことで、事前の下見ツアーに始まり、滞在先探しの斡旋・手配、さらには食材や日用品を購入するスーパーマーケットの情報、買い方、移動手段、インターネットの接続方法に至るまで、多様なサポートを実施。タイムシェアでも、物件の紹介や販売仲介はすでにスタートしている。

滞在中の楽しみを提供することもサポートの範囲内だ。伝統文化体験、島内観光、サンセットや4島巡りクルーズ、ゴルフ、オアフ島一周ドライブ……。中・長期滞在者といえども、滞在中は意外に活発に活動するからだ。

しかし、実際に「暮らすように」旅したヘビーリピーターを取材すると、こんな声が聞かれるのも事実。「旅行会社が販売するフラ教室に参加して、健康のためにきちんと習いたいと考えた。そこでその旅行会社に長期間習える教室を聞きに

行ったが、取り扱いがないとのこと。結局知人に紹介してもらったが、見つけるまでにとっても苦労した」。

ハワイを訪れる回数が増え、滞在日数も長期化すればするほど、消費者の行動パターンは旅行会社が手配を行ってこなかった範囲にも広がってきている。

「触れる」から「きちんと体験」へ

オアフ島でゴルフ場の手配を行うあるスタッフから、こんな話が聞かれた。「日本からのゴルファーといえば、これまでは数人の男性のみのグループが多かった。そのため、4人以上を対象に食事のデリバリーサービスを行ってきた。しかし最近、夫婦で滞在するスタイルが増加。2人分の要望が増えてきているため、我々としても細かなニーズに対応できるように準備している」。

一方で、あるロングステイヤーはハワイ滞在を繰り返す理由をこう語ってくれた。「毎年数カ月の滞在を繰り返しているのは、日系人社会の盆踊り大会でボランティアを行うため。日系人の子供たちに着付けができる人手が足りない聞き、少しでもお手伝いしたいと通うようになった」。

これらの声から見えてくるのは、旅行業界がこれまでの枠を超えたサービスを提供する必要性だ。「暮らすように」旅する旅行者は、言うまでもなくリピーターが中心。快適度に対しても、また体験でも「より本格的」なものを求める傾向が強い。運営が難しい非営利団体のボランティア的なサービスではなく、有料であっても、きちんとしたサポートを期待できる旅行業界の本格的な参入を歓迎する消費者は少なくない。

「暮らすように」旅するスタイルが定着しつつあるハワイ。ただ、そこで「何をして暮らす」のかはまだ見えてこない。これまで以上にヘビーリピーターを育成できるか否かは、快適さを超えた何か、滞在する醍醐味というべきものをどう提供できるかが、さらに重要になっているのではないだろうか。



09年オープンに向けて工事が始まった「ザ・グランド・ワイキキアン」。38階建て、計331の1&2ベッドルーム・ユニットを有する、ワイキキ最大にして最もラグジュアリーなタイムシェア・リゾートとなる予定。タワー内には、ショッピングアーケード、ビーチサイドレストラン、3つのスライダー付きプールも建設される

MY HAWAII



ハワイの ホリデー



Hilton
Hawaiian Village®
Beach Resort & Spa



【ヒルトン・ハワイアン・ビレッジ・ ビーチリゾート&スパ】

2005 Kalia Road, Honolulu, Hawaii 96815
Phone (808) 949-4321 Fax (808) 947-7897
www.hiltonhawaiianvillage.jp

●デューク・カハナモク・ラグーンが待望のオープン●12月からホリデー
イベントが目白押し

ここが魅力! ●ワイキキいち広大なビーチ●ワイキキ最大のスー
パープール●60種類以上の生き物たちが棲むトピカル・ガーデン●22
のレストラン&ラウンジ●世界に名を知られるマンダラ・スパ
●ルイ・ヴィトンやDFSなど90店以上のショッピングパラダイス



サンシャイン&KCバンド
♪ 年末コンサート ♪
2007年を踊り明かす
ダンスブルコンサート

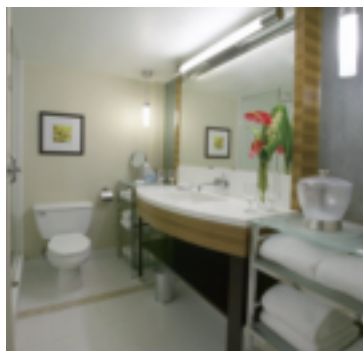
Hilton
Waikiki/Prince Kuhio



【ヒルトン・ワイキキ・プリンス・クヒオ】

2500 Kuhio Avenue, Honolulu, Hawaii 96815
Phone (808) 922-0811 Fax (808) 921-5507
www.hilton.co.jp/princekuhio

ここが魅力! ●約60億円をかけての大改装●601室の美しい
お部屋と9つの豪華なスイートルーム●24時間営業のレストラン
●ロビーバーでのトピカルドリンク



シーズンはヒルトンで。



Hilton
Waikoloa Village
On Hawaii's Big Island



【ヒルトン・ワイコロア・ビレッジ】

425 Waikoloa Beach, Waikoloa, Hawaii 96783

Phone (808) 886-1234 Fax (808) 886-2900

www.hiltonwaikoloavillage.jp

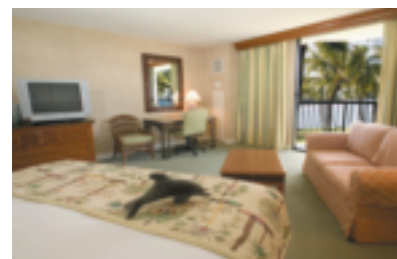
●90億ドルをかけた大リノベーションが進行中●イルカファミリーに赤ちゃん誕生●ホリデイイベントも目白押し

ここが魅力! ●約25万平米の広大な敷地●荣誉ある賞に輝く各種レストラン●2つのチャンピオンシップ・ゴルフコース●充実施設を誇るコハラ・スポーツクラブ&スパ●イルカに触れながら生態を学ぶドルフィンクエストラウン



ビッグ・バンド・ビート 年末コンサート

ビッグバンドビートと
踊って年明け!



Hilton
Kauai Beach Resort



【ヒルトン・カウアイ・ビーチ・リゾート】

4331 Kauai Beach Drive, Lihue, Hawaii 96766

Phone (808) 245-1955 Fax (808) 246-9085

www.hilton.co.jp/kauai

ここが魅力! ●約20億円をかけて2006年に改装完了●リフト空港から車で10分の便利な立地●4つのバー&レストラン●アロハニスパ&フィットネスセンター●滑り台のついた2つのプール



Ivy Hilton

Hilton  **Hawaii**

お問い合わせご予約は:

ヒルトン・セールス・ワールドワイド

東京オフィス: ☎(03)5216-6711 Fax: (03)5216-6712

東京都千代田区麹町1-10 澤田麹町ビル2F 102-0083

大阪オフィス: ☎(06)6348-5570 Fax: (06)6348-5571

大阪市北区梅田1-8-8



STARWOOD HOTELS & RESORTS

スターウッド・ホテル&リゾート

着々と進行する大規模リノベーション 伝統はそのままに、より機能的に変身

大型再開発が進むワイキキで、オン・ザ・ビーチの絶好ロケーションに「シェラトン・ワイキキ」「ロイヤル・ハワイアン」「モアナ サーフライダー・ウェスティン・リゾート」「シェラトン・プリンセス・カイウラニ」の個性あふれる4軒のホテルを展開するスターウッド・ホテル&リゾート。各ホテルでは大規模なリノベーションが着々と進められており、伝統とともに新しい滞在スタイルを旅行者に提案していく。



STARWOOD

HOTELS & RESORTS WAIKIKI

▲スターウッドグループはワイキキで個性的なホテルを運営

シェラトン・ワイキキ

シェラトン・ワイキキは今年4月から、新しいイベント「ディスカバー・アロハ・プログラム」をスタートした。ホテルのプールサイドでウクレレ演奏やポリネシアンナイト、映画上映などのイベントを実施するほか、無料のカルチャーアクティビティ、子供向けのアメニティグッズなどを提供。宿泊客がホテルでの滞在をより楽しめるよう趣向を凝らしている。また、04年12月よりスイートルームを除く1481の客室を“未来の客室”をテーマに改装。全室に低反発素材のマット「シェラトン・スイート・スリーパー」を採用したほか、バスルームなどをアップグレードしている。12月末に新しくオープンするレストラン「ラム・ファイヤー」ではバーやグリルのメニューを充実。ワイキキのナイトライフを演出する。

ロイヤル・ハワイアン

「ピンクパレス」の愛称で知られるロイヤル・ハワイアンは、09年初頭をめぐりにリニューアルオープンする。総工費は約7億5000万ドル。08年6月でいったん全館を閉鎖し、約7カ月間の工事の後、再オープンは09年1月1日の予定。エントランスをロイヤル・ハワイアン・ショッピングセンター側に移動し宿泊客のアクセスを向上させるほか、客室、レストランやバンケット、

ビーチフロント、公共エリアなどを全面的にリノベーション。新しいプールを建築するほか、世界各国のトリートメントを提供している「アバサspa」の拡張も予定されている。ワイキキ随一の名門ホテルが、優雅さと伝統の趣はそのままに、より一層機能性を高めて姿を現しそうだ。

モアナ サーフライダー・ ウェスティン・リゾート

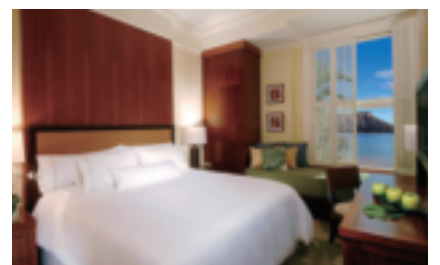
ワイキキ最古のホテルとして「ワイキキのファーストレディ」と称されてきたモアナ サーフライダーが今年6月にウェスティンブランドに生まれ変わった。これに伴い、ロビーエリアの調度品や照明が新しくなったほか、客室にはウェスティンが独自開発したヘブリーベッド、ヘブリーバスを導入。これまで以上に快適な眠りとバスタイムを提供できるようになった。また、11月中旬には新しいレストラン「ビーチハウス」と「ザ・ベランダ」がオープンする予定。コンテンツボラリー・アイランド・スタイルのステーキハウス、「ビーチハウス」ではデイナーを用意。「ザ・ベランダ」では、朝食、アフタヌーン・ティーが楽しめるハワイ文化が体験できる新しいキッズクラブもスタートしている。さらに08年には、14室のトリートメントルームやフィットネスセン

ターなどを備えたワイキキ初のオーシャンフロント・スパがオープンする予定だ。

シェラトン・プリンセス・ カイウラニ

ワイキキビーチのすぐ近くにありながら、手頃なルームレートでファミリーやグループにも人気が高いシェラトン・プリンセス・カイウラニ。全客室には、シェラトン・ワイキキと同じく「シェラトン・スイート・スリーパー」が導入されるなど、これまで以上に快適な滞在を用意する。

館内のアイナハウ・ショールームでは、最新のポリネシアンショー「クリエーション〜ポリネシアの旅」を毎週火・木・金・土・日曜の19時30分〜20時30分に開催。デイナーショーとカクテルショーの2種類があり、音楽と映像に合わせて燃え上がるたいまつを操りながら情熱的な踊りを披露するダンサーが、ポリネシアの世界に誘ってくれる。



▲モアナ サーフライダーには「ヘブリーベッド」「ヘブリーバス」が導入された



新しい感動を新しいワイキキで 自分だけのリゾート、再発見

世界有数のビーチリゾート、ワイキキがさらに魅力あふれるリゾートに生まれ変わりました。極上のくつろぎ、多彩なエンターテインメント、バラエティ豊かなダイニング、そして、海を望む最高のロケーション…ワイキキのスターウッドホテル&リゾートでは、さまざまな感動が貴方を待っています。新たなワイキキの魅力とアロハ・スピリットが、いつまでも心に残るハワイの休日をお約束します。ご予約・お問い合わせは、お近くの旅行会社、またはスターウッドホテル&リゾートまで。 <http://www.starwoodhotelshawaii.jp>、フリーコール 0120-922-775までどうぞ。

ロイヤル・ハワイアン・モアナ サーフライダー ウェスティン リゾート
シェラトン・ワイキキ・シェラトン・プリンセス・カイウラニ



STARWOOD
HOTELS & RESORTS WORLDWIDE, INC.

FOUR POINTS
BY SHERATON

Sheraton

aloft
HOTELS

W
HOTELS

bliss

LUXURY COLLECTION

MERIDIEN

ST. REGIS

WESTIN

element
powered by WESTIN

自分らしくハワイを楽しむ極上の場所



【オアフ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・ワイキキ・ビーチ・タワー
 ワイキキ・ビーチを一望できる広い部屋は全室オーシャンビュー。優雅な休日をお過ごしください。



【オアフ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・ワイキキ・サンセット
 カピオラニ公園近く、静かな環境のコンドミニアム。フルキッチンとプライベートラナイ付き。



【オアフ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・アット・ザ・ワイキキ・パニオン
 キッチンとラナイ付きの広いお部屋。温水プール、ジェットバス、サウナ、テニスコートやBBQなど充実。



【オアフ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・パシフィック・モナーク
 ワイキキの中心に位置する便利な立地。眺望が素晴らしいワイキキ唯一の屋上プールも人気。



【オアフ島】(H) (T) (P) (H)
リゾートクエスト・ワイキキ・ビーチサイド・ホテル
 カラカワ通りを隔て、目の前にワイキキビーチが広がる。洗練された調度品と行き届いたサービス。無料朝食付き。



【オアフ島】(H) (H)
アストン・ホノルル・プリンス
 シンプルで快適な内装の客室。キッチン付きタイプは家族旅行に最適です。ショッピングやブレイスボットはすぐ近く。



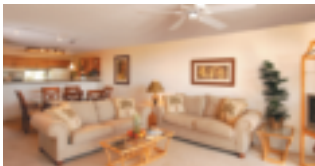
【マウイ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・カアナハリ・ショアーズ
 静かなビーチ沿いの高級コンドミニアム。暮らすように快適な設備、アメニティ、サービスが充実。



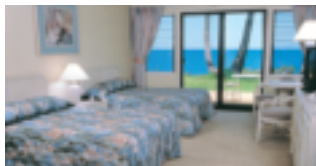
【マウイ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・マウイ・カアナハリ・ヴィラ
 カアナハリ・ビーチの絶好のロケーション。使い勝手の良いキッチン、広いリビングやダイニング。



【マウイ島】◎ (T) (P) (H)
ザ・ホエララ・オン・カアナハリ・ビーチ
 美しいビーチフロントに位置する豪華なビーチリゾート。洗練されたサービスと充実した設備を備えています。



【マウイ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・バキ・マウイ
 カアナハリ地区の北に位置し、ホノコワイ・ビーチパークに隣接したコンドミニアム。



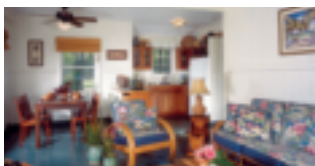
【マウイ島】(H) (T) (P) (H)
アストン・マウイール
 28エーカーの広大な敷地。豊かな木々に囲まれた建物は、南国の雰囲気感をいっばいに味わえます。



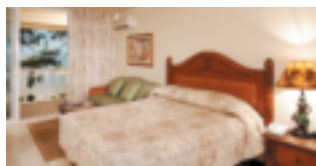
【ハワイ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・コナ・バイ・ザ・シー
 全室オーシャンビューのお洒落なコンドミニアム。ビーチサイドのプールやジェッツスパで、リゾート気分。



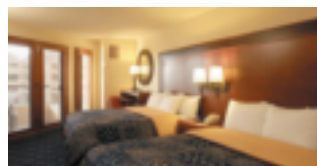
【カウアイ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・アット・ホイブ・カイ
 カウアイ島南岸、70エーカーのホイブリゾート内に位置する、緑豊かなコンドミニアム。



【カウアイ島】◎ (T) (P) (H)
リゾートクエスト・ワイメア・プランテーション・コテージ
 ワイメアキャニオン近く、海が目前に広がるロケーション。27エーカーの敷地に点在するコテージ。



【カウアイ島】(H) (T) (P) (H)
リゾートクエスト・アイランダー・オン・ザ・ビーチ
 カウアイ島東海岸のオーシャンフロント。62エーカーのココナツマーケットプレイスの海側に位置。



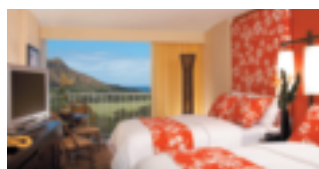
【カウアイ島】(H) (T) (P) (H)
リゾートクエスト・カウアイ・ビーチ・アット・マカイ
 カウアイ島の中心、カバアの美しいオーシャンフロント。レストラン、オープンエアのラウンジ、プール、フィットネスセンターなど家族旅行におすすめ。

Toll Free : 0120-080-102 **ResortQuestHawaii.jp** 携帯 : ResortQuestHawaii.jp/i

東京本社:Tel.03-3544-5110 Fax.03-3544-5025 大阪営業所:Tel.06-6446-5621 Fax.06-6446-5655



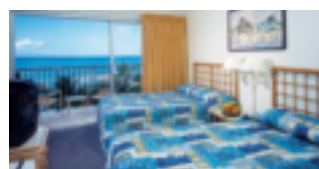
ハワイ4島、26軒、5000室。リゾートクエスト・ハワイの多彩なホテル、コンドミニウムスイート、ヴィラの中から自由にお選びください。



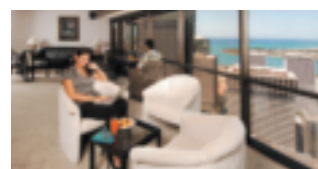
【オアフ島】**H**
リゾートクエスト・ワイキキ・ビーチ・ホテル
 客室の85%から海が望めるホテル。テイクアウト方式の無料朝食サービスも人気です。



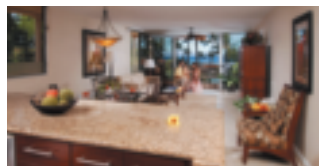
【オアフ島】**H**
リゾートクエスト・ワイキキ・ジョイ・ホテル
 ワイキキの中心にあり、エンターテインメントやショッピングにも最適。全室ジェットバス、無料朝食付き。



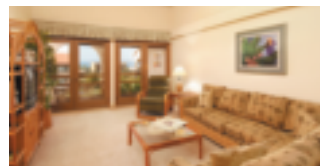
【オアフ島】**H**
リゾートクエスト・ワイキキ・サークル・ホテル
 カラカウア通りに位置する円筒型の建物。海をイメージした内装とリーズナブルな料金が旅慣れた旅行者に人気。



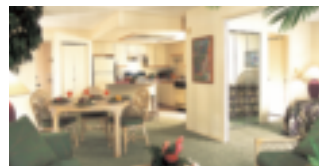
【オアフ島】**H**
リゾートクエスト・アット・ザ・エグゼクティブ・センター・ホテル
 ホノルルのダウンタウン、ビジネス街の中心に位置。40階のエグゼクティブ・クラブルームで朝食のサービス。



【マウイ島】**C**
リゾートクエスト・マハナ・アット・カアナハ
 どの客室からも太平洋が臨めるオーシャンフロント。特にラナイから眺めるラナイ・モロカイの島々は美しい。



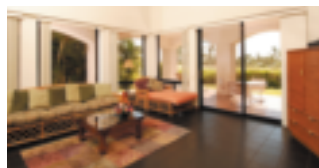
【マウイ島】**C**
リゾートクエスト・マウイ・ヒル
 キヘイとワイレアの間に位置するコテージ風のコンドミニウム。シックなインテリアは大人の雰囲気。



【マウイ島】**C**
リゾートクエスト・アット・ザ・マウイ・パニアン
 静かなキヘイ地区に位置するコンドミニウム。カマオレビーチパークの向かいにあり、アクティブ派におすすめ。



【マウイ島】**C**
リゾートクエスト・アット・パバケア・リゾート
 赤い屋根の4階建て。ビーチフロントが長く、広い庭には池やパティオグリーンもあり、ファミリーにも最適。



【ハワイ島】**C**
リゾートクエスト・ショアーズ・アット・ワイコロア
 コハラコーストの高級リゾート地ワイコロアにあるコンドミニウム。地中海様式の一戸建てが魅力。



【ハワイ島】**C**
リゾートクエスト・ワイコロア・コロニー・ヴィラ
 自然豊かなワイコロア・リゾートにある広々としたタウンハウスタイプのコンドミニウム。

お得な割引クーポンブック アロハ・ブック

リゾートクエスト・ハワイのコンドミニウムまたはホテルに滞在されると、レストランやショップ、アトラクションなどで割引やギフトなどの特典が得られるクーポンブック「アロハ・ブック」を、1部屋に1冊差し上げます。全て使用と最高\$1,300の価値があります。

C Condominium **H** Hotel



キッズ・アメニティ

12歳以下のお子様には、チェックイン時に砂遊びセットやぬり絵、ビーチボールなどをプレゼントします。



シニア・アメニティ

50歳以上の方には、リゾートクエスト・ハワイをご予約時にお申し出頂くと、お部屋のビューのアップグレード、シャンパンやチョコレートプレゼントなどの特典が付きます。



ハネムーン・アメニティ

ハネムーンでリゾートクエスト・ハワイにご宿泊のお客様には、ご予約時にお申し出頂くと、お部屋のビューのアップグレード、シャンパンやチョコレートプレゼントなどの特典が付きます。

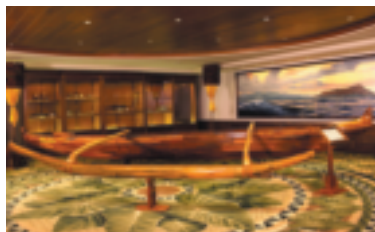
【ご注意】*お部屋のアップグレードは空室状況やご宿泊時期によって、ご利用いただけない場合がございますので、予めご了承ください。
 *アメニティはご宿泊いただくコンドミニウムまたはホテルにより内容が異なります。

OUTRIGGER WAIKIKI

アウトリガー・ワイキキ

最新設備にハワイの伝統が融合 スパで究極のリラクゼーション体験も

ワイキキの中心に位置するアウトリガー・ワイキキは、ビーチに面して立つワイキキでも数少ないホテルのひとつ。開放感あふれる館内には、近代的な施設と共にハワイの伝統に触れられる工夫が施されており、各種カルチャープログラムがリピーターにも好評だ。



▲ロビーに展示されているアンティーク・カヌー



▲ビーチに面したホテルはワイキキでは数少ない

ホスピタリティーあふれるサービス 充実のダイニングスポットも自慢

ビーチフロントの絶好のロケーションに立つアウトリガー・ワイキキは、アウトリガー・ホテルズ&リゾートのフラッグシップ・ホテルとなっており、デラックスホテルならではのパーソナルタッチのサービスを誇る。チェックインもそのひとつで、フロントデスク・カウンターには椅子を備えており、ゆったりと座ってチェックインができる。

525の客室は、シティビューからオーシャンビュー、1ベッドルーム・デラックス・オーシャンフロントまで7つのカテゴリーに分かれ、室内にはエアコン、ラジオ付き目覚まし時計、アイロンとアイロン台、ヘアドライヤー、コーヒーメーカー、冷蔵庫、ケーブル/有料映画/ゲーム機能付きTV、データポートとボイスメール機能付き直通電話など、充実した設備を備えている。また、室内のセーフティーボックス、ハワイおよび米国内の通話、ハイスピード・インターネット接続、ロビーやプールサイドなどパブリックスペースでのワイヤレス・インターネット接続がすべて無料で利用できる。

館内にある3つのレストランはいずれもビーチに面しており、リゾート気分になりながら食事が楽しめる。

地元でも評判のアメリカンスタイルのカジュアルレストラン「デュークス」は、ハワイ出身の伝説のサーファー、デューク・カハナモクの名を冠した店で、ビーチフロントの1階にあり、ビーチから気軽に入店することもできる。店内では毎夜ハワイアンミュージックが演奏され、活気

あふれる人気スポットとなっている。もう1つが、マウイ島カアナバリにあるアワード受賞レストランの姉妹店で、新鮮な魚介類を使ったアイランドスタイルのシーフードレストラン「フラ・グリル」。そして、ダイヤモンドヘッドやワイキキビーチを一望できるのが「チャックス・ステーキハウス」。プライムステーキや地元の素材を使ったシーフードが評判で、食べ放題のサラダバーも見逃せない。

06年、最上階にスパを設置 独自のトリートメントを用意

リゾートと言えば、もはや欠かせない要素となったのが、本格的なトリートメントが受けられるリラクゼーション施設の存在。アウトリガー・ワイキキでは、06年にスパ施設「ワイキキ・プランテーション・スパ」をオープン、最新のマシンを備えたフィットネスセンターも新設した。

スパ施設は海を一望できるホテル最上階のペントハウスに位置し、370㎡を超えるスペース内には、プライベートマッサージ/フェイシャルルーム2室、ヴィシーシャワーを備えた多目的ルーム2室、カップル用マッサージルーム2室、それに2カ所のリラクゼーション・ラウンジやオーシャンビュー・サンデッキなどが備わっており、スパ施設内でイベントやパーティーを開催することも可能だ。

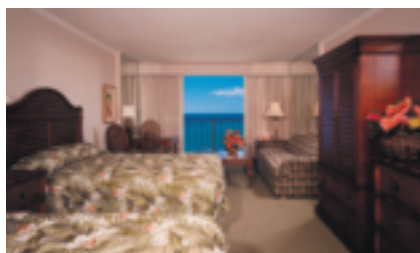
最先端のフェイシャルやマッサージ、ボディトリートメント、ネイルケアメニューに加えて、砂糖キビやパイナップル、マカデミアナッツオイル、ククイナッツオイル、コナコーヒーやココナッツな

ど、ハワイ産の素材を使った各種メニューも体験できる。

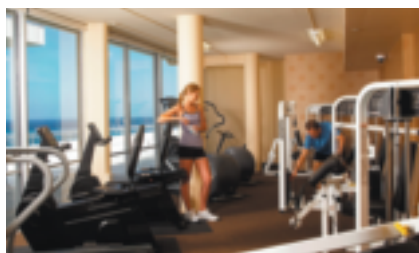
なかでも、ハワイ伝統スタイルのロミロミと溶岩（ボハク）を使ったロミ・ボハク・マッサージや、古代インドから伝わる薬草を採り入れたアユールヴェーダのフェイシャルプログラムは同スパ自慢のメニューとなっている。

アウトリガー・ワイキキでは、ハワイの伝統や文化を積極的に採り入れており、館内の至るところで、ハワイの自然や風物をモチーフにしたインテリアや装飾、古き良き時代を偲ばせるノスタルジックな調度品を目にすることができるほか、アンティーク・カヌーとハワイの歴史的遺産も常時展示されている。

さらに、伝統音楽、芸術、歴史などに造形の深い講師によるカルチャープログラムも定期的に開催されている。古代ハワイの岩面彫刻（ペトログリフ）をモチーフに版画プリント作りを体験する「ペトログリフ・プリントメイキング・ワークショップ」、ハワイ原生薬草の用法について学ぶ「ラアウ・ラパアウ」、ウクレレ演奏者から無料レッスンが受けられる「ウクレレ・ジャム」（月1回）、それにレイメイキング・レッスンなどを通じて、ハワイの伝統文化に親しむことができる。



▲視界180度の海が目の前に広がるオーシャンフロントの部屋



▲最新のマシンを備えたフィットネスセンターも完備



▲06年に海を一望できるスパが完成



アウトリガー・ワイキキ・オン・ザ・ビーチ



アウトリガー・ワイキキ・オン・ザ・ビーチ・ロビー



ワイキキの真ん中に見つけたラグジュアリーなひととき

素足でビーチに降り立てるワイキキ屈指のベストロケーション。ゲストひとり一人が快適に滞在できる心のこもったパーソナルサービス。55年の伝統と新しく生まれ変わったゲストルーム&ロビー。ハワイ生まれのアウトリガーホテルズで、心から寛げるワイキキをご満喫ください。また新しくオープンしたスパが、身も心も癒す安らぎのホテルステイをお約束します。

outrigger-japan.com

ご予約・お問い合わせは、アウトリガー・エンタープライズ・グループ 東京オフィス
セールス (03) 3436-5451・5452 / ご予約 (03) 5473-9470・9477



HAWAII®

ハワイ州観光局

その花の香りは、ふと、私のところに届いた。

いま、ここにあるすべては、しっかりと生きている。

そんな、あたりまえだけど、だいじなことを教えてくれた。

この花たちに、今日めぐり会えてよかった。

自然がくれた、なにげない出会いにも、いまは素直に感謝できる。

週刊「トラベルジャーナル」TRAVEL JOURNAL

臨時増刊
11月12日号

平成19年11月12日発行・毎週月曜日発行
昭和39年9月17日第三種郵便物認可

第44巻 第58号 通巻254号 発行人 森谷博

発行所


株式会社トラベルジャーナル (03)3360-1331
〒164-0003 東京都中野区東中野三丁目1番13号 トラビタリテイビル

年間購読料2,835円(税送料込)
印刷所 欧文印刷機 定価630円

あたらしい私に出会う旅。

Discover Aloha

www.gohawaii.jp

ハワイの美しい環境を守るための喫煙ルールがあります。Keep Hawaii Clean  詳しくはハワイ州観光局ホームページへ。